



瑞ずい 花か

発行者

瑞江中学校PTA
広報委員会
江戸川区江戸川4-16
電話 03 (3651) 2210
生徒数 361名

瑞中フェスティバルを終えて

PTA会長 望月一秀

今年、一昨年ぶりに瑞中フェスティバルを開催させていただきました。昨年は周年行事もあり、開催を控えていただいております。数カ月前から会議を重ね、各役員さん達と共に準備を進めてまいりました。

まだ夏の暑さの残る日差しの中、賑わう校庭を思い浮かべていましたが、当日が雨か曇りか微妙な天候とわかり、急遽、前日準備の段階で雨天時開催仕様に變更することを決断しました。室内の限られたスペースでの開催はかなり混雑し、パタパタではありましたが、各売り場や裏方でお手伝いをいただいていたPTAのOB・OGの皆様のご協力もあり、無事終ることができました。

反省点は多ありましたが、私たちPTAが主体となり、開催させていただいたこの瑞中フェスティバルで、参加していただいた保護者の方々や生徒さん、小さなお子様たちの楽しそうな笑顔を見られましたことは大変嬉しく思いました。来年もこの瑞中フェスティバルで皆様に楽しんでいただき、中学校生活の思い出のページにしたいだければ幸いと思っております。開催に伴い、ご協力をいただきました先生方、歴代PTA会長様方、PTAのOB・OGの皆様、親父の会の皆様、各役員の皆様と地域の皆様に本部一同、心より感謝申し上げます。今後ともPTAの活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

京都・奈良 修学旅行

2018年9月1日(土)～3日(月)



修学旅行記

「ほんまにええ時に来やりました」の言葉通り、昨日までの土砂降りは嘘のように、残暑も和らぎ、天候にも恵まれた瑞中二行総勢百四十名は、初日の体験学習、清水寺参拝、東山散策を終え、京の宿に到着。

『雨後の京 秋空洗う 舞台かな』
二日目、待ちに待ったタワシでの班行動。金閣寺、北野天満宮、銀閣寺、二条城、伏見稲荷、平等院等々、西から東、北から南へと京の街を各班思い思いに駆け巡り、最後は奈良の宿で集合。「ようおかえり」とお出迎え。

『金秋や 笑顔燦々 鹿苑寺』
三日目、暑い日差しのもと東大寺へ。大仏殿・盧舎那仏にはその大きさと威容に驚かされる。しばし鹿と戯れた後は、世界最大の木造建築から世界最古の木造建築、法隆寺へ。ガイドさんの話に熱心に耳を傾け、最後は新大阪から帰路の新幹線。無事、一之江到着。

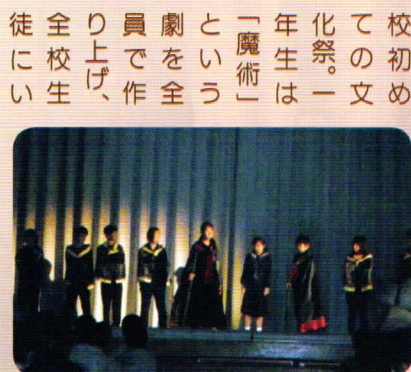
『野分避け縫うが如くに旅の空』
帰京後、台風二十二号による関西方面の惨禍の報を聞くにつけ見るにつけ、一日早くても遅くても成し得なかった幸運の三日間だったなどの思いを強くしました。留守を見守ってくださったご家族をはじめ、教職員の皆様、多くの方々にご感謝申し上げます。

(文責：石森正行)

生徒の感想

一年生 青木 日和

校初め
実行委員として迎えた中学



校初め
の文化祭。一年生は「魔術」という劇を全員で作
り上げ、全校生徒に
じめはあつてはならないもの、
軽い気持ちで人を傷つけては

たクラスにも感謝しています。

二年生 伊藤 美紅

舞台というのは、表に出る役者だけでなく、大道具や小道具、衣装、音響照明、広報の人がいて、はじめて舞台として成り立つのだ、と改めて実感した。練習のとき、面倒だな、と思っただけ、がんばったらそれだけできるようになる、と分かってからは、面倒くさいとも思わなくなりました。

迷惑はかなりかけてしまったとは思いますが、それでも文句ひとつ言わずにいてくれた裏方さんたちにも感謝の気持ちでいっぱいだし、色アードバイスをくれた

文化祭

2018.10.27(sat)

いけないものなどといったメッセージを伝えることができたと思います。実行委員では準備やリハーサルをする際に、たくさんの先生方やバスケットボール部のみんなが進んで手伝ってくれ、私は、やはり文化祭はみんな

た監督さんや先生方、役者仲間のみんなにも感謝の気持ちでいっぱいになった。



なで協力して作るものなんだと深く感じました。貴重な体験ができ、実行委員を任せてくれ

三年生 佐藤 萌絵・小野 絢音
私たち三年生にとって「最後の文化祭。その準備に与えられた時間はたったの二週間。焦りや不安を抱え、数々の衝突もあ

る中、一人ひとりの「文化祭を成功させたい」という思いが少しづつ劇を形作っていった。そして本番では、今までの集大成といえる作品を披露することができ、「最高の文化祭」として私たちの心に深く刻まれた。



先生の感想

宇野 綾乃

今年の文化祭では、実行委員が中心となってスローガンの横断幕や映像を作成しました。生徒たちが自らやりたい！と立案し、計画を立てて作成している姿は、とても生き生きとしていました。また、文化祭当日は、どの学年の生徒もお互いにフォローし合いながら行動している場面が多く見られ、自分たちで文化祭を成功させるんだ！という気持ちが伝わってきました。「Smiles bring happiness」を届けよう！みんなの心に感動を！のスローガンどおり、生徒一人ひとりの一生懸命に頑張っている姿が、観ている人に笑顔と感動を届けてくれました。

林間学校

長野県白馬村

2年生
7/22(土)~24(日)



た。宿泊した一軒のノ木ホテルは、フカフカのベッドにピュッフェの食事。ご馳

七月二十三日、二十四日の二泊三日、十年以上続く白馬村での林間学校は、想像以上の猛暑ではありましたが、大自然に囲まれ、地元の方々との心温まるふれあいや、友人と寝食を共にしての三日間はとても充実したものでなりました。一日目はラフティング、トレッキング、EXアドベンチャー、とんぼ玉作りと四つのアクティ



二年生 藤江 真美

走を好きになだけ盛り付け、心もお腹も満たされました。夜は体育館にてキャンドルファイヤー。レク係や地元の方の演出で、ゲームやダンス、歌、保護者の方からのサプライズのお手紙もあり、大いに盛り上がりました。二・三日目は各班に分かれ民泊体験。農作業のお手伝いをしたり、自然とのふれあいを楽しんだり、あたたかいおもてなしを受け、たくさんさんの思い出を持って帰ることができ、忘れられない三日間となりました。



編集後記 (広報委員一同)

瑞花172号をお届けいたします。発行にあたり、お忙しいなか写真撮影や原稿執筆にご協力頂きました皆様、深く感謝申し上げます。